

テレビの音が離れていても近くで聞けるラジオ付き

お手元スピーカー

AM20

はじめに




このたびは、お手元スピーカー AM20をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は保証書を兼ねています。すぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

- ・本製品は防水仕様ではありません。水や液体などで濡らさないでください。
- ・本書の内容を一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- ・本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- ・製品改良の為、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ・BluetoothワードマークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、(株)キングジムはこれらの商標を使用する許可を受けています。
- ・キングジム、KING JIM、aremaは、株式会社キングジムの商標または登録商標です。

もくじ

はじめに	2
もくじ	3
安全上のご注意(必ずお守りください)	4~5
使用上のご注意	6
セット内容の確認	7
各部の名称とはたらき	8~10
スピーカーを充電する	11
送信機をテレビに接続する	12~13
使い方	
テレビを見るとき	14~16
ラジオを聞くととき	17~18
「ゆっくり」ボタンについて	19
「ハッキリ」ボタンについて	20
ストラップの取り付け方法	21
乾電池で使う	22
電源端子・外部入力端子・ヘッドホン端子の使い方	23
故障かな?と思ったら	24
製品を廃棄するときのお願い	25
主な仕様	26
アフターサービス	27




安全上のご注意(必ずお守りください)

 危険	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷* ¹ を負うことがあり、かつ、その度合いが「高いこと」を示します。
 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が軽傷* ² を負う可能性または物的損害* ³ が発生する可能性があること」を示します。


*1: 重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電を示します。


*3: 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を指します。



	気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

危険



	本製品内部からもれた液体にはさわらないでください。また目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
---	--

警告

	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波が心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与えるおそれがあります。
	指定された電源電圧以外で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
	本体およびACアダプタを電子レンジなどの加熱調理機や高压容器に入れないでください。発熱、破裂、発火などの原因となります。
	本体およびACアダプタを濡らさないでください。火災や感電の原因となります。
	製品の内部に水や異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
	充電端子部をショートさせないでください。火災や故障の原因となります。
	ACアダプタのケーブルは伸ばして使用し、釘などで固定したり、束ねたりした状態で使用しないでください。過熱による火災やけがの原因となります。
	ACアダプタのケーブルの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしないでください。断線や故障の原因となります。
	本体およびACアダプタを布などで覆った状態で使用しないでください。発熱や発火などの原因となります。
	火のそばや直射日光の当たる場所など、異常に温度が高くなる場所での使用や保管、放置をしないでください。機器の変形、発熱、発火の原因となることがあります。

	分解、改造をしないでください。火災や感電の原因となります。
	使用中や充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などを感じたときは直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発熱、発火などの原因となります。
	付属のACアダプタ以外は使用しないでください。 機器の発熱や発火、故障の原因となります。
	異物や水などが機器の内部に入った場合は電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて使用を中止してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
	コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不十分のまま使用すると、感電や火災、けがの原因となります。
	アンテナを目や顔に近づけないでください。けがの原因となります。

注 意

	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して故障の原因となります。
	湿気やほこりの多い場所、高温になる場所には設置や保管をしないでください。故障の原因となります。
	濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えることがあります。音量を上げすぎないように注意してください。
	ICカードやキャッシュカードなど磁気に弱いものを近づけないでください。記録が消えたり、壊れたりすることがあります。
	機器を移動させる場合は必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。 コードの傷つきやけが、火災、感電の原因となります。
	お手入れの際や長期間使用しない時はACアダプタをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。
	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。けがの原因となります。
	ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタの本体を持って抜いてください。コード部分を持って抜くと、コードの破損や火災、感電の原因となります。
	電源プラグの刃および刃の取り付け面についたほこりなどは乾いた布などで定期的に拭き取ってください。電源プラグ部の絶縁低下によって、火災の原因となります。
	本製品を長期間使用しない場合でも、1か月に一度を目安に充電をおこなってください。
	心臓ペースメーカーなどの医療機器をお使いの方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談してください。

使用上のご注意

ワイヤレス機器について


本製品は2.4GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、およびアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

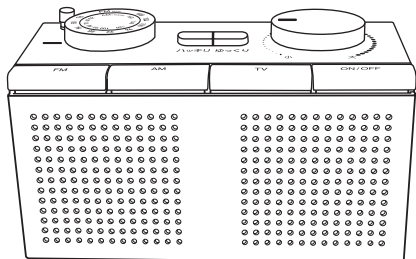
1. 本製品を使用される前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止し、電波干渉を避けてください。

- ・ 本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
- ・ 本製品は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。無線局の免許は必要ありません。
- ・ 以下の行為は法律で禁じられています
 - － 本製品を分解／改造すること
 - － 本製品記載の証明マークを消すこと
- ・ 他の機器との影響
電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線LANを使用する機器、Bluetooth搭載機器など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声がとぎれることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。
- ・ 伝送距離について
本製品は送信機に接続した機器の音声をスピーカーに無線伝送します。伝送可能な距離は、見通しが良い場所で送信機から約30mです。(P16参照)

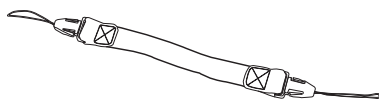
※送信機からの伝送可能な距離は周囲の環境や建物の構造などによって変化します。送信機とスピーカーの間に壁や金属の扉など、電波を遮るものがあると伝送距離は短くなります。また、送信機は電波を反射する壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックの中などを避けて設置してください。

 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてFHSS変調方式を採用し、与干渉距離は30mです。

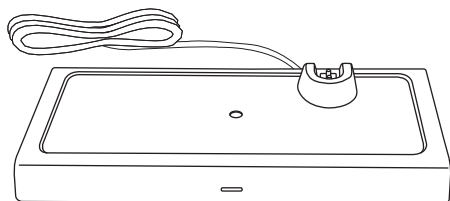
セット内容の確認



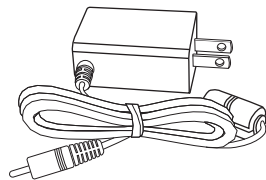
スピーカー



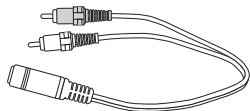
ストラップ



送信機 (充電スタンド)



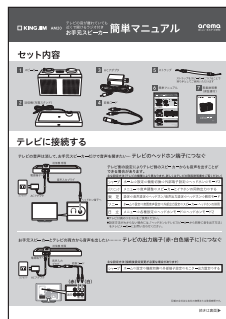
ACアダプタ



変換コード



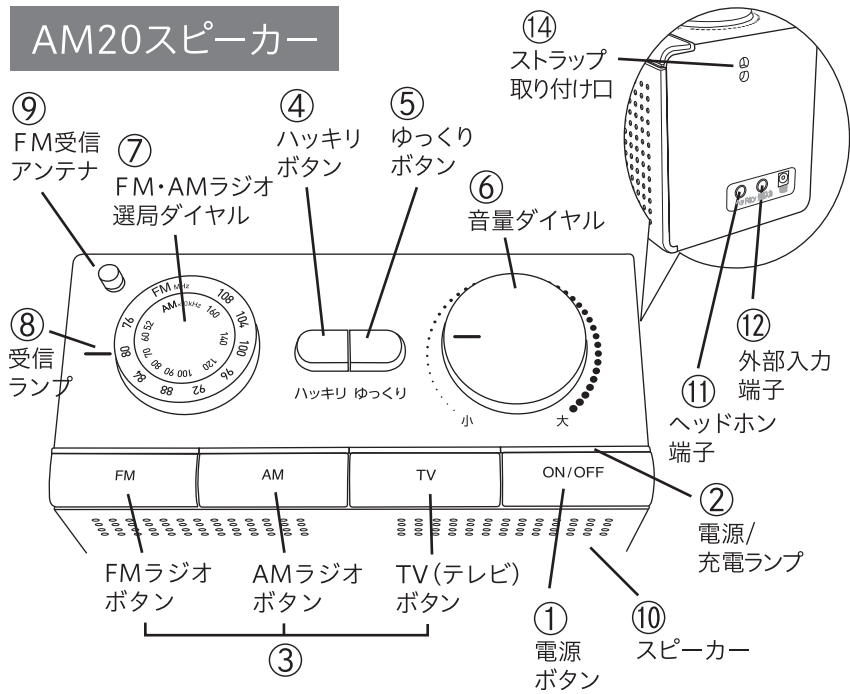
取扱説明書
(保証書付)



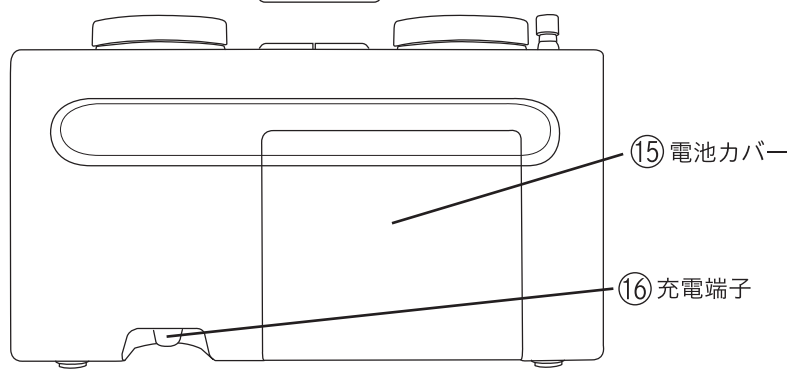
簡単マニュアル

各部の名称とはたらき

AM20スピーカー



裏面



各部の名称とはたらき

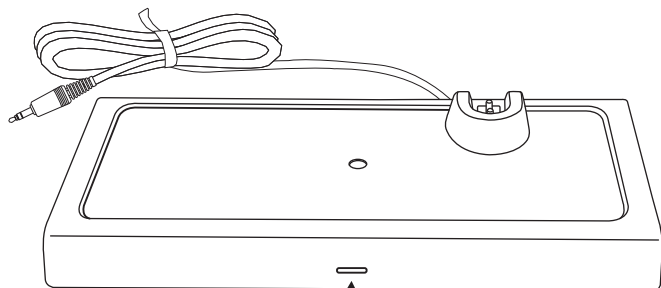
- ①電源ボタン
…電源の入/切をします。
- ②電源／充電ランプ
…電源が入ると緑色、充電中は赤色に点灯します。
- ③FMラジオ／AMラジオ／TV(テレビ)ボタン
…「FM／ワイドFMラジオ」「AMラジオ」「テレビ音声」を切り替えます。
- ④ハッキリボタン
……ハッキリ機能の入／切をします。
- ⑤ゆっくりボタン
……ゆっくり機能の入／切をします。
- ⑥音量ダイヤル
……音量を調節します。
- ⑦FM／AMラジオ選局ダイヤル
……FMラジオ／AMラジオの周波数を調整します。
- ⑧受信ランプ
……受信すると点灯します。
- ⑨FM受信アンテナ
……FM／ワイドFMラジオの電波を受信します。
- ⑩スピーカー
……ここから音が聞こえます。
- ⑪ヘッドホン端子
……ステレオイヤホンを接続します。
- ⑫外部入力端子
……オーディオプレイヤーなどの外部機器と接続します。
- ⑬電源端子
……送信機を使用しないときは、付属のACアダプタが接続できます。
- ⑭ストラップ取り付け口
……ストラップを取り付けます。
- ⑮電池カバー
……充電電池または乾電池をセットします。
- ⑯充電端子
……充電する時送信機(充電スタンド)に接続します。

各部の名称とはたらき

AM20送信機 (充電スタンド)

テレビ端子に接続し、テレビ音声をスピーカーに送信します。

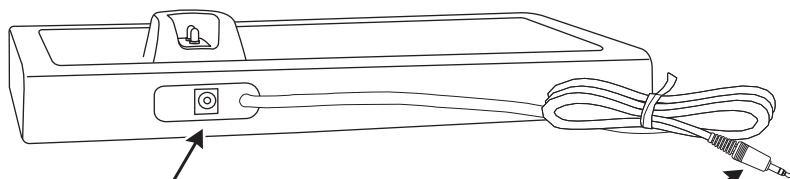
正面



電源ランプ

電源ランプの光り方については
P14を参照してください。

裏面

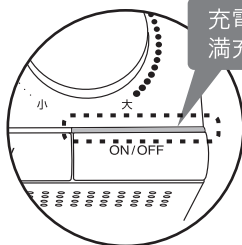
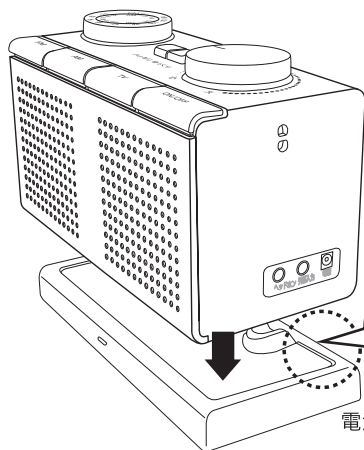


電源端子
付属のACアダプタ
を接続します。

音声入力プラグ
テレビのヘッドホン端子または
音声出力端子に接続します。

スピーカーを充電する

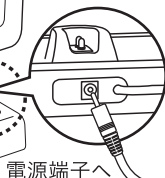
- ①スピーカーを送信機の上にセットします。



充電中は赤色に点灯
満充電で消灯

スピーカーの電源が
入っているときは
黄色に点灯します。

送信機後ろの電源端子に
ACアダプタを接続する



ACアダプタ



コンセント

ご注意

付属の充電電池以外は使用できません。

満充電時 連続約27時間使用できます

充電電池は消耗品です。ご使用状況、期間により、使用時間は短くなります。

こんな時は充電してください

電池残量が減ってくると、LEDランプが赤く点滅でお知らせしますので充電をおこなってください。また、LEDランプが赤く点滅した場合はしばらくしてから充電が開始されます。そのまま放置すると過放電保護のため約3分後に自動的に電源が切れます。

電池の残量

赤色に点滅

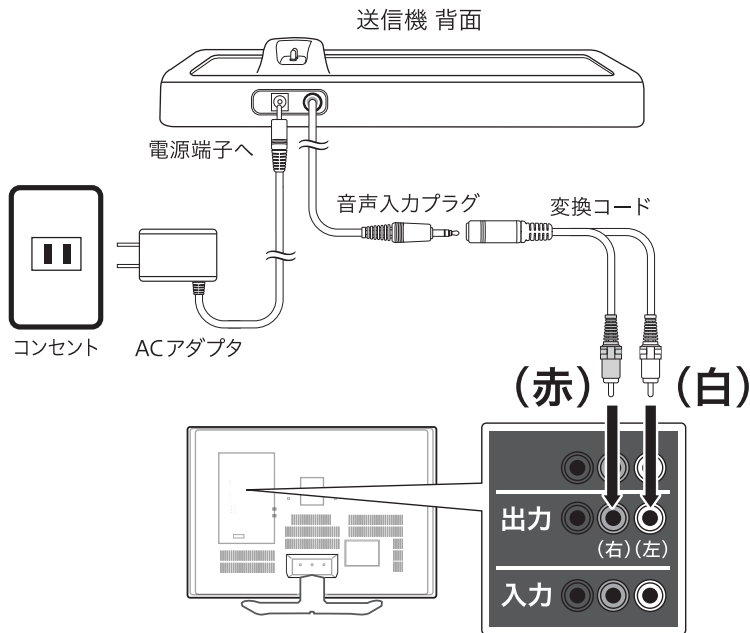
ON/OFF

電池残量少
充電してください

送信機をテレビに接続する

テレビとの接続には2通りの方法があります。

テレビ背面の出力端子(赤白色端子)に接続する
お手元スピーカーとテレビの両方から音が聞こえます。



テレビ音声出力端子

出力端子の表記や位置はテレビによって異なります。(モニター出力、音声出力など)

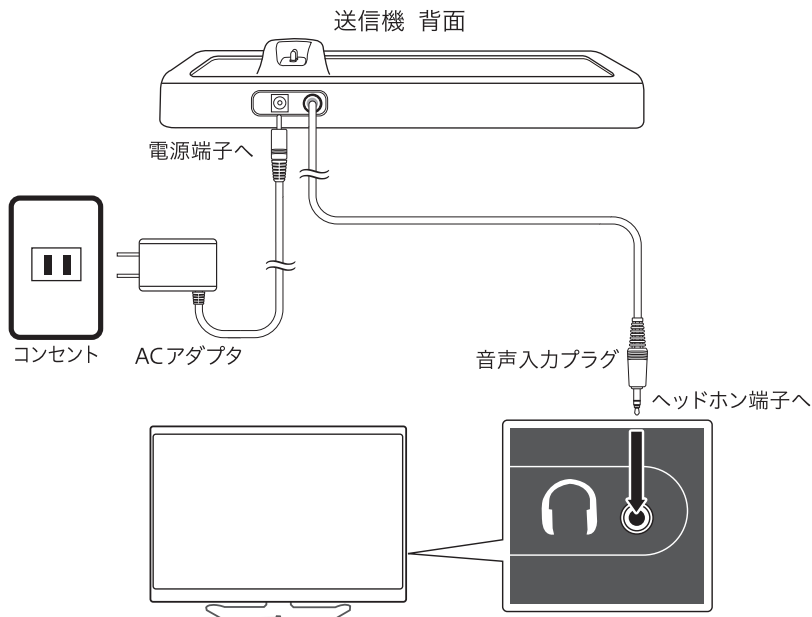
- ① 音声入力プラグに付属の変換コードを接続し、テレビ背面の出力端子(右・左)に接続します。
- ② ACアダプタをコンセントに接続します。

MEMO ・テレビの機種によっては出力端子と入力端子が兼用されている場合があります。
その場合はテレビ側の設定を「出力(固定)」にしてください。
・変更方法は簡単マニュアルをご覧ください。

送信機をテレビに接続する

テレビのヘッドホン端子に接続する

テレビの音声は消してお手元スピーカーだけで音声が聞こえます。



ヘッドホン端子

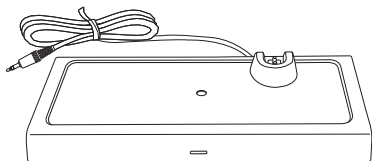
ヘッドホン端子の位置はテレビによって異なります。

- ①音声入力プラグをテレビのヘッドホン端子に接続します。
- ②ACアダプタをコンセントに接続します。

MEMO ・テレビ側の設定によりヘッドホン端子接続時にテレビ側のスピーカーからも音声を出すことができる場合があります。
・設定変更にはテレビ付属のリモコンをご使用ください。
・変更方法は簡単マニュアル(別紙)をご覧ください。

使い方【テレビを見るとき】

- ①送信機をテレビにセットします。
接続方法はP12・13を参照。



- ②テレビの電源を入れます。



送信機(充電スタンド)の電源ランプの光り方

送信中 電源が自動的に入り、送信が始まると送信機の電源ランプは緑色に点灯します。



待機中 テレビの電源が入っているか、正しく接続されているか確認してください。入カプラグに音声信号が無いと約10分後に赤色の点灯に変わります。また、スピーカーの電源が入っていないと約30秒後に赤色の点灯に代わります。



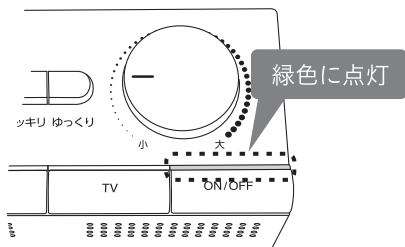
送信中 テレビの電源「入」



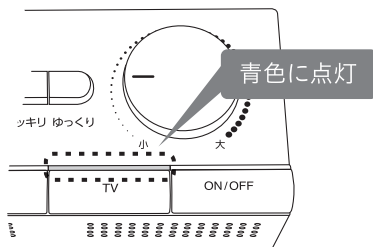
再びテレビ本体の電源を入れると自動的に送信が開始されます。

使い方【テレビを見るとき】

- ③スピーカーの電源を入れます。
電源が入ると電源ランプ
が緑色に点灯します。

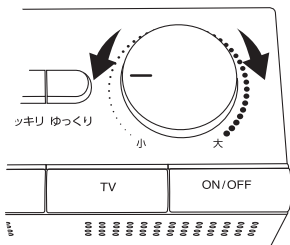


- ④TV(テレビ)ボタンを押します。



送信機の電源が入って
いない場合電源ランプ
が1秒おきに点滅します。

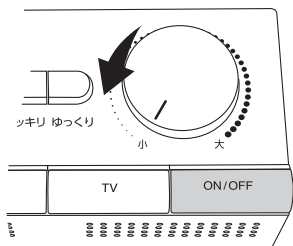
- ⑤音量ダイヤルで音量を調節します。



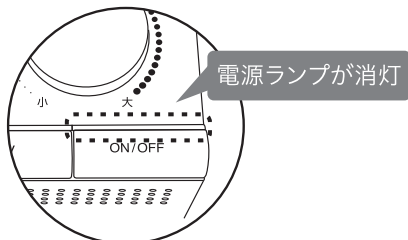
MEMO・送信機をテレビのヘッドホン端子に
接続している場合、スピーカーの音量
を「大」の方向にまわしても音量が
あまり大きくならないことがあります。
その時はテレビ本体の音量を上げて
ください。

使い方【テレビを見るとき】

- ⑥使用後は音量ダイヤルを「小」にし、スピーカーの電源を切ります。

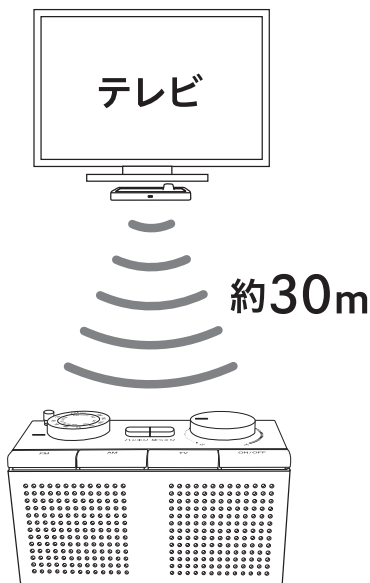


電源を切り忘れた場合



スピーカーの電源を切り忘れても送信機からの送信が止まると約10分後自動的に電源が切れます。再度使用する場合は、電源ボタンを入れ直してください。

使用イメージ

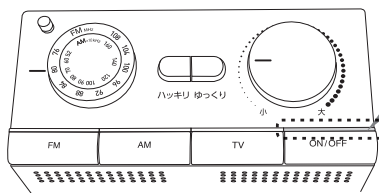


MEMO ・送信機からスピーカーまで約30m 音声を伝送します。使用環境により異なります。

使い方【ラジオを聞くととき】

※送信機は使用しません

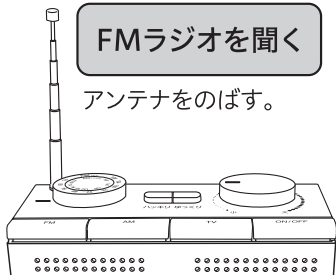
スピーカーの電源を入れます。



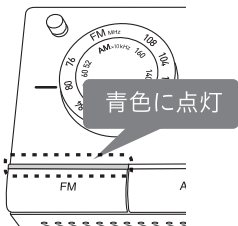
緑色に点灯

FMラジオを聞く

アンテナをのぼす。

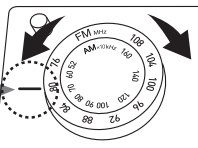


FMラジオボタンを押します。



FM選局ダイヤルの外側の数字を受信ランプの位置に合わせます。

受信ランプの位置に数字を合わせます

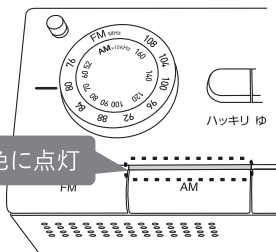


周波数が合い受信すると受信ランプが緑色に点灯します

AMラジオを聞く

アンテナをのぼす必要はありません。

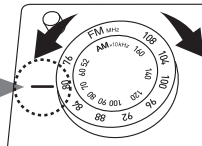
AMラジオボタンを押します。



青色に点灯

AM選局ダイヤルの内側の数字を受信ランプの位置に合わせます。

受信ランプの位置に数字を合わせます



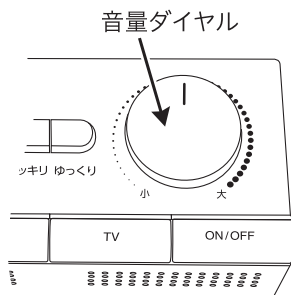
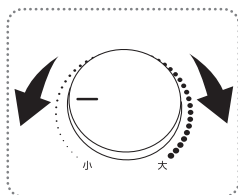
緑色に点灯



ご注意

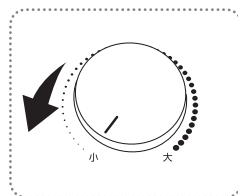
- ・受信感度が弱いときはスピーカーの位置を変えてください。
- ・窓際に置くと受信しやすくなります。
- ・車やビルの中などでは受信しにくくなります。
- ・他の家電製品からの雑音によって、受信状態が悪くなることがあります。

音量ダイヤルで音量を調節します。

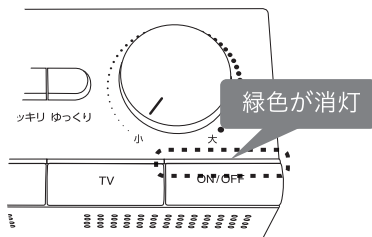


使い終わったら

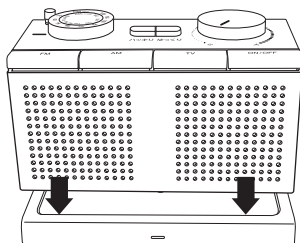
①音量を「小」にする。



②スピーカーの電源を切ります。



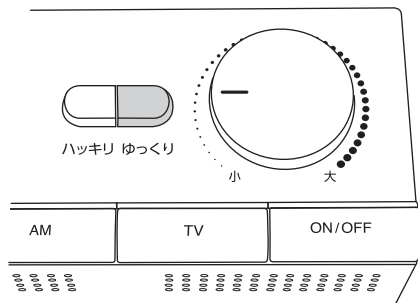
③本体を送信機(充電スタンド)に乗せます。(充電が始まります)



「ゆっくり」ボタンについて

「ゆっくり」ボタンを押してください。

音声速度を
遅くします



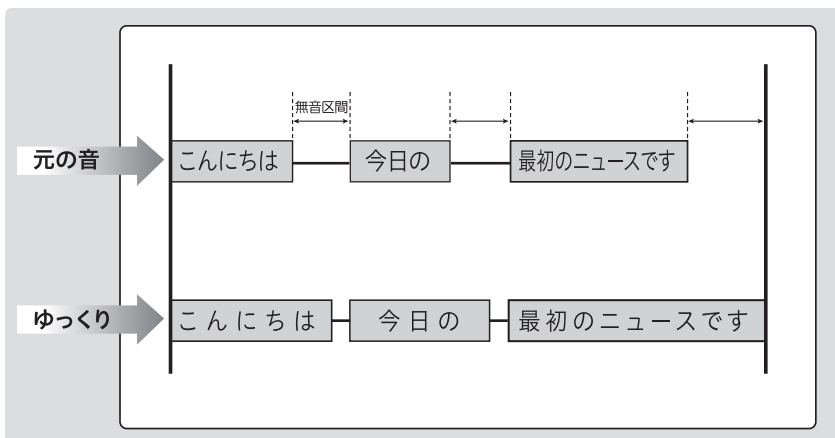
通常の会話には言葉と言葉の間に「無音区間」があります。

「ゆっくり」ボタンを押すと

言葉の部分だけを長くのばすので「ゆっくり」聞こえます。

MEMO ・「ゆっくり」使用時、音声はモノラルになります。

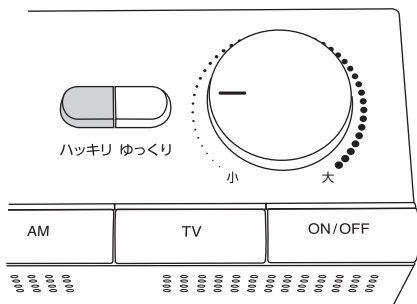
・無音区間のない音楽やBGMのある音声では「ゆっくり」は機能しません。



「ハッキリ」ボタンについて

「ハッキリ」ボタンを押します。

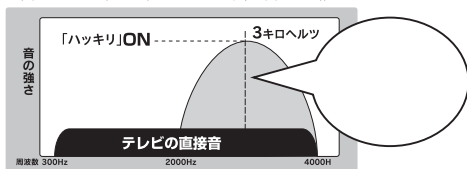
聞き取りにくい
中高音域を
アップします



「ハッキリ」について

聴力の低下は20代からすでに始まり、特に「高い音」は年齢とともに次第に聞こえにくくなると言われています。「低い音」は比較的聞こえているのに「高い音」は聞こえない、つまり聞こえている音のバランスが崩れていくのです。

年配の方の聞き取りにくい中高音域を補強



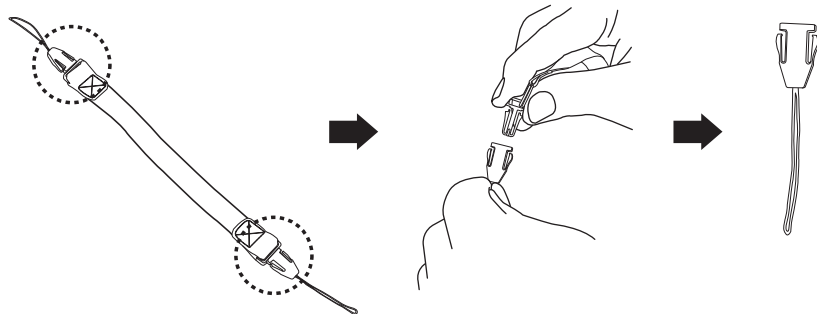
テレビを見る場合、聞き取りにくさを感じると音量を上げていきます。

音量が大きくなると、聞こえている低い音も大きくなるので、それが元々聞こえにくくなっている高い音を覆ってしまい(マスキング効果)更に音がぼやけて、よく聞こえなくなります。つまり、いくら音量を上げててもハッキリ聞こえるようにはならないのです。「お手元スピーカー(AM20)」の「ハッキリ」ボタンを使うと、低い音域はそのまま、聞き取りにくい高い音域を増幅します。聴力が低下した音域を補強するので、テレビ音声ハッキリ聞こえるようになります。

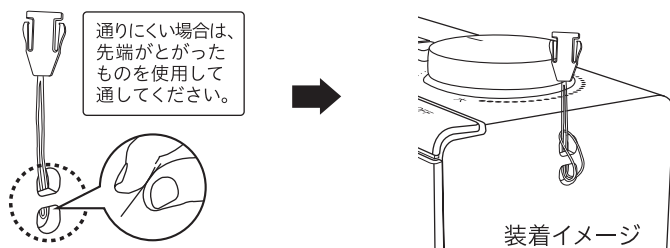
ストラップの取り付け方法

ストラップをスピーカーにつけることで持ち手としてご使用いただけます。

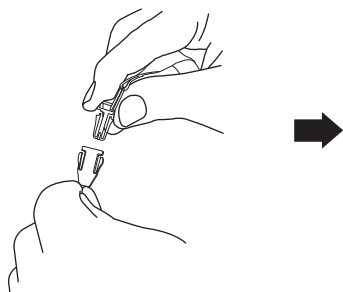
①ストラップの先端を取り外す。



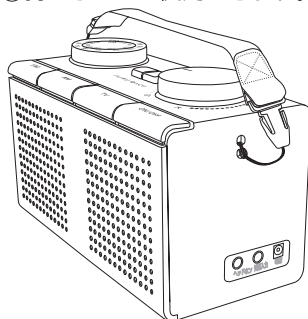
②ひもを本体のストラップ取り付け口に通す。



③取り外したストラップを装着する。



④持ち手として使用できます。

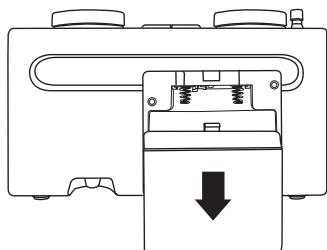


乾電池で使う

コンセントがない場所、停電などの非常時に乾電池駆動でラジオが聞けます。

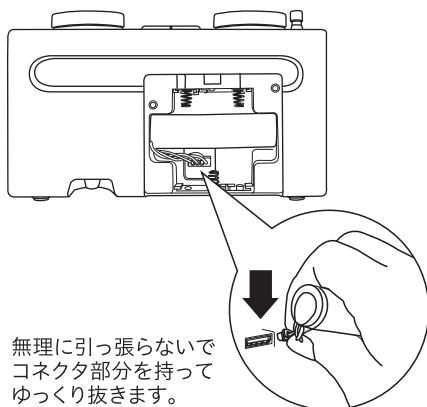
充電電池を外して乾電池でも使えます。

①電池カバーを外す。

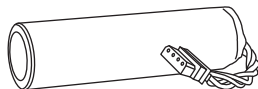


下にスライドさせます。

②充電電池のコネクタ部を外し、取り出します。

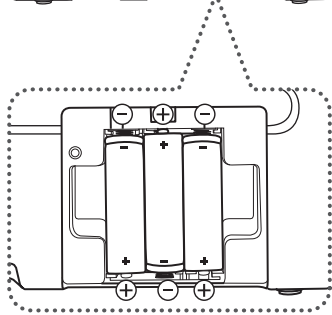
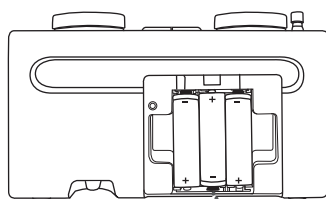


無理に引っ張らないで
コネクタ部分を持って
ゆっくり抜きます。



抜いた充電電池は無くさないよう保管しましょう。
付属の充電電池以外は使用できません。

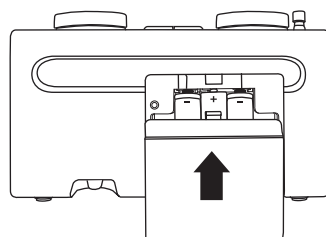
③単3形乾電池を取り付けます。



⊕と⊖方向を間違えないように
取り付けます。

単3形乾電池×3本(別売)

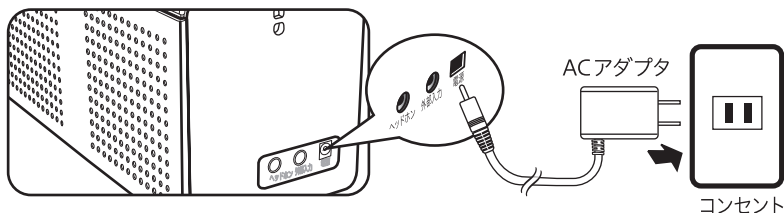
④電池カバーを取り付けます。



上にスライドさせます。

電源端子・外部入力端子・ヘッドホン端子の使い方

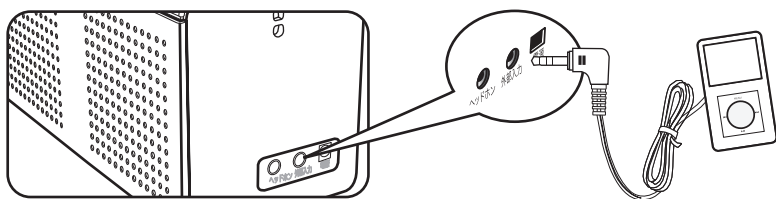
電源端子を使って充電する



送信機を使用しないときは、付属のACアダプタを直接スピーカーにつないで充電することもできます。

外部入力端子を使って聞く場合

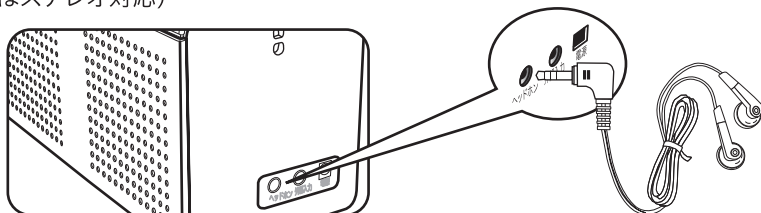
オーディオプレーヤーなど音声を外部入力端子に接続して聞くことができます。「ゆっくり」「ハッキリ」ボタンを押して聞くこともできます。



音声入力がない状態で使用すると約10分後、自動的に電源が切れます。
※接続用コードは付属していません。
(Φ3.5mmステレオミニプラグタイプ)

ヘッドホン端子を使って聞く場合

ヘッドホン端子に市販のΦ3.5mmステレオヘッドホンを接続します。
(音声はステレオ対応)



故障かな?と思ったら

テレビ音声を聞くととき		
症 状	原 因	対処のしかた
音が出ない	スピーカーまたは送信機の電源が入っていない	スピーカーまたは送信機の電源を入れる (⇒P15)
	送信機が正しく接続されていない (入力端子に接続している)	送信機の音声入力プラグをテレビの音声出力端子もしくはヘッドホン端子に接続する (⇒P12、P13)
	テレビのヘッドホン端子からの入力信号が最小になっている	接続したテレビの音量を上げる (⇒P15)
	スピーカーの充電が不足している	スピーカーを充電する (⇒P11)
	スピーカーの音量が下がっている	スピーカーの音量を上げる (⇒P15)
	鉄筋・サッシなど電波を遮るものが近くに ある	金属部分から離れた位置で使用する
	スピーカーと送信機の距離が遠い	スピーカーと送信機を近づける (⇒P16)
音がひずむ 雑音が多い 音がとぎれる	スピーカーの充電が不足している	スピーカーを充電する (⇒P11)
	テレビのヘッドホン端子からの入力 信号が小さい/大きい	接続したテレビの音量を上げる/下げる (⇒P15)
	周囲に2.4GHz帯の電波を使用している 機器がある(無線LAN、Bluetooth、電子レンジ等)	2.4GHz帯の電波を使用する機器から離して使用する (P6)

FM/AMラジオを聞くととき		
症 状	原 因	対処のしかた
受信できない	電波が弱い	建物の中などではなるべく窓際に置いて使用する
	チューニングが合っていない	ラジオ選局ダイヤルで周波数を調整する (⇒P17)
	ボタンが「FMまたはAMラジオ」に なっていない	ボタンを「FMまたはAMラジオ」にする (⇒P17)
音がひずむ 雑音が多い	スピーカーの充電が不足している	スピーカーを充電する (⇒P11)
	他の機器の影響を受けている(パソコン、 電子レンジ等)	スピーカーを他の機器から離す (⇒P6)

アフターサービス

保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

修理に出されるときは

保証期間内で、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。

製品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、当社の都合により代替品に交換することで修理に代えさせていただく場合がございます。

お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム製品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

FAX からの場合 0120-79-8102

携帯電話からの場合 0570-06-4759 ※通話料お客様負担

受付時間: 平日(月～金曜日) 午前 9:00～午後 5:30

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

<https://www.kingjim.co.jp/>



アンケート実施中

<http://kj-q.com>

抽選で謝礼を進呈いたします

※PC、スマホ、タブレットのみ対応

主な仕様

●AM20スピーカー

受信周波数帯 : 2.4GHz帯

FM受信周波数 : 76~108MHz

AM受信周波数 : 520~1620kHz

電源 : リチウムイオン充電電池 / 単3形アルカリ乾電池×3(別売) /
: ACアダプタ(付属)

連続使用時間 : 約27時間(充電池使用時)

: 約15時間(乾電池使用時)

実用最大出力 : 1.3W+1.3W(ACアダプタ使用時)

: 1.0W+1.0W(充電池使用時)

充電時間 : 約6時間

スピーカー : Φ50mm×2

ヘッドホン端子 : Φ3.5mmステレオミニジャック

外部入力端子 : Φ3.5mmステレオミニジャック

外形寸法 : 約170(W)×80(D)×102(H)mm

質量 : 約515g

●AM20送信機

変調方式 : F H S S方式

送信周波数帯 : 2.4GHz帯

到達距離 : 約30m

電源 : ACアダプタ

入力端子 : Φ3.5mmステレオミニプラグ

外形寸法 : 約172(W)×82(D)×30(H)mm

質量 : 約130g

●スピーカー・送信機共通

動作環境 : 温度5~35℃ 湿度30~80%(非結露)

保存環境 : 温度-10~55℃ 湿度5~80%(非結露)

●セット内容

ACアダプタ

変換コード

ストラップ

取扱説明書(保証書付)

簡単マニュアル